

平成26年度

南あわじ市の教育方針

ふれあい共生の人づくり

— ふるさとを愛し、たくましく生きる力をはぐくむ —

南あわじ市では、シンボルである木・花・音頭に触れることができる快適な環境と文化にあふれ、可憐な花を咲かせる日本水仙、黒松が群生する風光明媚な海岸、情緒あふれるふるさと音頭など市民の一体感を醸成しています。南あわじ市は、誕生から10年を迎え、新庁舎建設も始まりました。教育施設も、平成23年度策定した「教育施設再編基本計画」に基づいて、整備を進めます。昨年4月には、吉備国際大学南あわじ志知キャンパス地域創成農学部が開校しました。学校教育分野でも、社会教育分野でも連携を密にし、新たな取組を探っていかなければなりません。

「南あわじ市教育振興基本計画」の最終年を迎え、引き続き、「生きる力」の育成という理念に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むことが重要です。

「確かな学力」の育成のため、小中学校の連携強化、ICT機器やデジタル教材の有効活用、特別支援教育支援員の充実と、外国語活動（英語教育）の充実のための外国語活動支援員を配置し、調査・研究に取り組めます。

「豊かな心」の育成のため、道徳教育の充実に取り組めます。また、生徒指導の充実のため、学校運営支援対策員の配置や適応指導教室の運営を継続します。特に、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめ防止基本方針の策定に取り組めます。学校では、引き続きいじめを許さない風土づくりに向け、道徳の授業や体験活動を通じて、他人を思いやる人間性豊かな心の育成を図ります。

「健やかな体」を育成するため、食育の充実を図ります。特に、小学校では「弁当の日」に取り組めます。また、統合された南あわじ市学校給食センターでは、アレルギー対応食の提供を拡大します。

学校教育においては、「次世代の人材を育てる学校教育」をテーマにし、6つの重点課題を掲げました。子どもたちが自立して社会生活を送れるよう、確かな学力の向上とともに、道徳教育、体育・スポーツ活動などを通して、児童生徒の豊かな心と健やかな体の育成を図ります。

社会教育においては、「活力と生きがいをはぐくむ社会教育」をテーマにし、5つの重点課題を掲げました。地域社会の連帯を強め、伝統文化継承やスポーツなどの生涯学習の推進を通して、地域の教育力の充実に資する社会教育の基盤づくりに努めます。

ふれあい共生の人づくりの具現化に向け、学校教育及び社会教育が連携を図り総合的に推進します。

次世代の人材を育てる学校教育

重点課題

- 1 知識基盤社会に応える「確かな学力」の育成
- 2 「豊かな心」を育成する道徳・人権教育の充実
- 3 体育・スポーツ活動を通じた「健やかな体」の育成
- 4 安全・安心で、開かれた学校・園所づくりの推進
- 5 教職員としての資質と実践的指導力の向上
- 6 遊びを通じた確かな「学び」を培う幼児教育の推進

市の木「黒松」



活力と生きがいをはぐくむ社会教育

重点課題

- 1 連帯社会の再生、家庭と地域の教育力の向上
- 2 体験を通して学ぶ伝統文化の香り高いまちづくりの支援
- 3 運動に親しみ体力の向上をめざした生涯スポーツの推進
- 4 人権尊重の文化が根付くまちづくりの推進
- 5 社会教育の指導者としての資質と実践的指導力の向上

市の花「日本水仙」



南あわじ市教育委員会
南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会

次世代の人材を育てる学校教育

1 知識基盤社会に応える「確かな学力」の育成

- ① 調査・評価による実態把握に即した指導方法の工夫・改善に努め、個に応じた多様な指導の充実を図る。
- ② 基礎・基本の確実な定着を図り、興味・関心を持って、主体的に学習に取り組む姿勢を培う。
- ③ 豊かな体験活動や課題解決的な学習を通し、思考力・判断力・表現力等の育成・向上を図るとともに、知的活動やコミュニケーションの基盤となる「ことばの力」を育成する。

2 「豊かな心」を育成する道徳・人権教育の充実

- ① 郷土の特色を生かした豊かな体験を通して、ふるさと意識を深めるとともに、生命や自然に対する畏敬の念を育む。
- ② 自尊感情を高め、自己実現と共生をめざす人権教育を推進する。
- ③ 伝統と文化を尊重し、郷土の先人の生き方等、心に響く魅力的な教材を通し、道徳的実践力を培う。

3 体育・スポーツ活動を通じた「健やかな体」の育成

- ① 体育・スポーツ活動に親しむ習慣や意欲を養い、体力・運動能力の向上を図る。
- ② 発達段階を踏まえた指導、安全の確保や休養の設定などにより、豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
- ③ 健康で安全な生活を送るための基礎を培うとともに、家庭や地域と連携して食育の推進に取り組む。

適応教室

不登校児童生徒の学校復帰を図るため、適応教室を4教室（緑、西淡、三原、南淡）設置しています。

- 教育相談 個別相談に応じます。
- 交流体験 調理、釣り、レクリエーションなどの活動をしています。
- 自主学习 個に応じた自主学习を支援します。

【問い合わせ】各小中学校、教委学校教育課

全小学校に外国人講師と 外国語活動支援員を派遣

南あわじ市では、平成17年度から全小学校に外国人講師（ALT）を派遣しています。また、平成26年度からは、5、6年生の外国語活動を中心に、外国語活動支援員（英語が話せる日本人）を派遣し、担当教員、ALTと協力し、外国語活動の授業づくりを円滑にし、授業の充実を図ります。小学生のころからネイティブな英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しんだりすることで、国際感覚を身につけることを目的としています。

4 安全・安心で、開かれた学校・園づくりの推進

- ① 学校評価システムの充実を図り、地域に信頼される学校・園づくりを進める。
- ② 幼・保、小、中、高の連携を一層深め、家庭や地域との絆を強め、安全な環境で、安心して生活を送ることができるよう実践を進める。
- ③ 子どもの内面理解に基づく生徒指導の充実を図り、いじめなどの問題行動に的確に対応する指導体制を整備し、未然防止や早期発見、早期対応に取り組む。
- ④ 家庭・地域・関係機関との連携をより深め、自らの生命を守る能力や態度を育むため、地域の災害特性を踏まえた防災教育を推進する。

5 教職員としての資質と実践的指導力の向上

- ① 教職員としての高い使命感・倫理観を保持し、豊かな人間性の涵養に努める。
- ② 幅広い視点からICTを意図的・計画的に活用するなど、教育効果の向上をめざし絶えず研修を深める。
- ③ 社会の変化に対応した教育観を培い、教育の専門家としての感性豊かな実践的指導力の向上を図りながら、子どもに対する愛情と責任感を持ち、体罰に頼らない心の通い合う指導に努める。

6 遊びを通した確かな「学び」を培う幼児教育の推進

- ① 発達や遊びの連続性を踏まえた教育の充実を図る。
- ② 幼・保・小の連携及び交流活動を通して、円滑な接続を行う。
- ③ 幼児の直接的・具体的な体験活動を通し、伝え合う力の育成や自立と協同の態度を培う。

一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

幼稚園、小中学校で支援

特別支援教育校内外委員会

- ・支援が必要な幼児、児童生徒の実態把握
- ・具体的な支援内容や方法の検討

特別支援教育コーディネーターが連絡調整に当たります

- ・校内の連絡調整
- ・関係機関との連携
- ・交流及び共同学習の推進

特別支援教育支援員の配置

行動面での不安定さや特別な支援が必要な幼児児童生徒への教育的支援

通級指導

(学校生活支援教員の配置)

市で支援

特別支援教育コーディネーターネットワーク会議

- ・各学校園の情報交換
- ・支援方法の研修

就学指導委員会

幼児、児童、生徒の就学に関する指導

あわじ教育相談(毎月第2木曜日)

就学前5歳児健康診査(健康課)

特別支援学校や他の様々な関係機関と連携して、早期からの相談・支援体制づくりを進めます。

活力と生きがいをはぐくむ社会教育

1 連帯社会の再生、家庭と地域の教育力の向上

- ① 家庭の教育力の向上を図るため、学習機会の提供と子育て支援の充実を図る。
- ② 「地域のおじさんおばさん運動」等のネットワークづくりを活用して、子育て家庭への見守りや青少年の健全育成に努める。
- ③ 地域の連帯意識を高めるため、異年齢や異世代とのかかわりを通して、自主性や創造性・社会性をはぐくむ体験活動、学校支援活動の充実を図る。
- ④ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動や「あいさつ運動」を進める。

2 体験を通して学ぶ伝統文化の香り高いまちづくりの支援

- ① 伝統文化の継承を支援し、子どもたちの伝統文化への関心と理解を深めるとともに、発表の機会を提供するよう努める。
- ② 文化財の保存と文化施設の活用を図り、地域に密着した学習・情報拠点としてのサービス機能の向上に努める。
- ③ 市民の生涯にわたる学習の成果を生かすことができるよう、ライフステージに応じた活力と生きがいづくりを進める。



ちかくに いつでも きっといる

ハート・ブリッジ・メンバーズ「地域のおじさんおばさん運動」

次代を担う子どもの健やかな成長を図るためには、子どもたちを温かく見守りながら豊かな心を育てようとする大人の輪を広げることが必要です。

日常のあいさつや声かけ・見守りなど、できることから子どもと大人のつながりを築いていきます。

【問い合わせ】南あわじ市青少年育成センター

3 運動に親しみ体力の向上をめざした生涯スポーツの推進

- ① 気軽にスポーツを楽しめるよう環境整備に努めるとともに、地域に根付く多様なスポーツ活動の推進を図る。
- ② 豊かなスポーツライフを実現し、体力の向上と地域コミュニティづくりに生かす。

4 人権尊重の文化が根付くまちづくりの推進

- ① 共に生きるまちづくりに向け、地域で起こる身近な人権問題に対し、正しい認識を培い、主体的な行動を促す人権学習を進める。
- ② 一人一人の個性が大切にされ、人権尊重の文化に満ちた社会の創造に努める。

5 社会教育の指導者としての資質と実践的指導力の向上

- ① さまざまな個人の要望や社会の要請に応える専門的指導者の育成に努める。
- ② 学校・家庭・地域の連携を支える指導者の育成やネットワークづくりを進め、地域の教育力の向上に努める。

みんなが伝統文化の継承者

地域の歴史に学び、祭りや伝統文化に親しみ、語り継ぐことのできる子どもを育てます。淡路人形浄瑠璃をはじめ、それぞれの地元で受け継がれている唄や踊りを体験することで、コミュニティの連帯感を醸成し、ふるさと南あわじに誇りを持てる心を養います。



学校教育 南あわじ市



折り紙教室（幼稚園）



幼稚園の交流遠足



幼稚園・小学校合同防災訓練



環境体験（小学3年）



自然学校（小学5年）



トライやる・ウィーク（中学2年）



お弁当の日（小学校）



ICT活用授業（小学校）



体力アップ（小中連携）



人権学習（中学校）



ALTと外国語活動の授業（小学校）



学力向上少人数学習（中学校）



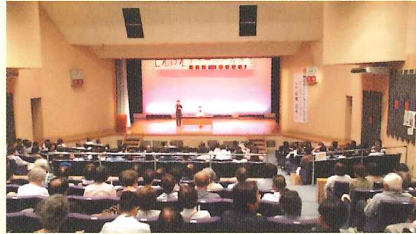
言語活動の充実（中学校）

の教育

社会教育



人権サマーフェスティバル



人権講演会



子ども見守りパトロール



発掘調査



文化財保存



子ども見守り活動



スポーツ推進委員会



アジア国際子ども映画祭



学校支援地域ボランティア



海洋スポーツ



わんぱく塾



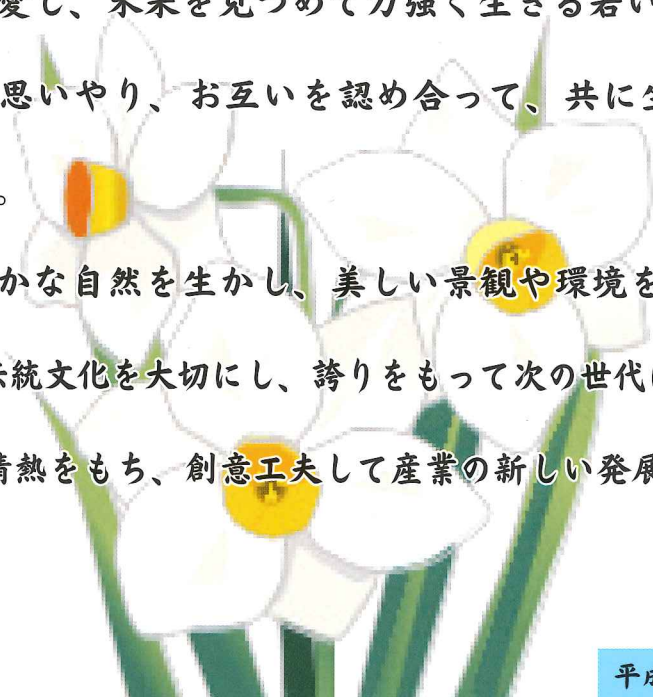
伝統芸能発表会



南あわじ市市民憲章

南あわじ市は、もとの三原郡域を引きつぎ、野の幸、山の幸、海の幸に恵まれています。また、国生み神話に彩られた歴史をもち、薫り高い伝統文化がはぐくまれてきました。わたくしたち市民は、花と緑と青い海、きれいな空気を大切にし、夢と希望の実現に向かって努めることを誓い、この憲章を定めます。

- ・人と郷土を愛し、未来を見つめて力強く生きる若い世代を育てます。
- ・周りの人を思いやり、お互いを認め合って、共に生きてゆく喜びをめざします。
- ・恵まれた豊かな自然を生かし、美しい景観や環境をまもります。
- ・歴史遺産や伝統文化を大切にし、誇りをもって次の世代に伝えていきます。
- ・仕事に夢と情熱をもち、創意工夫して産業の新しい発展につとめます。



平成22年1月11日制定